

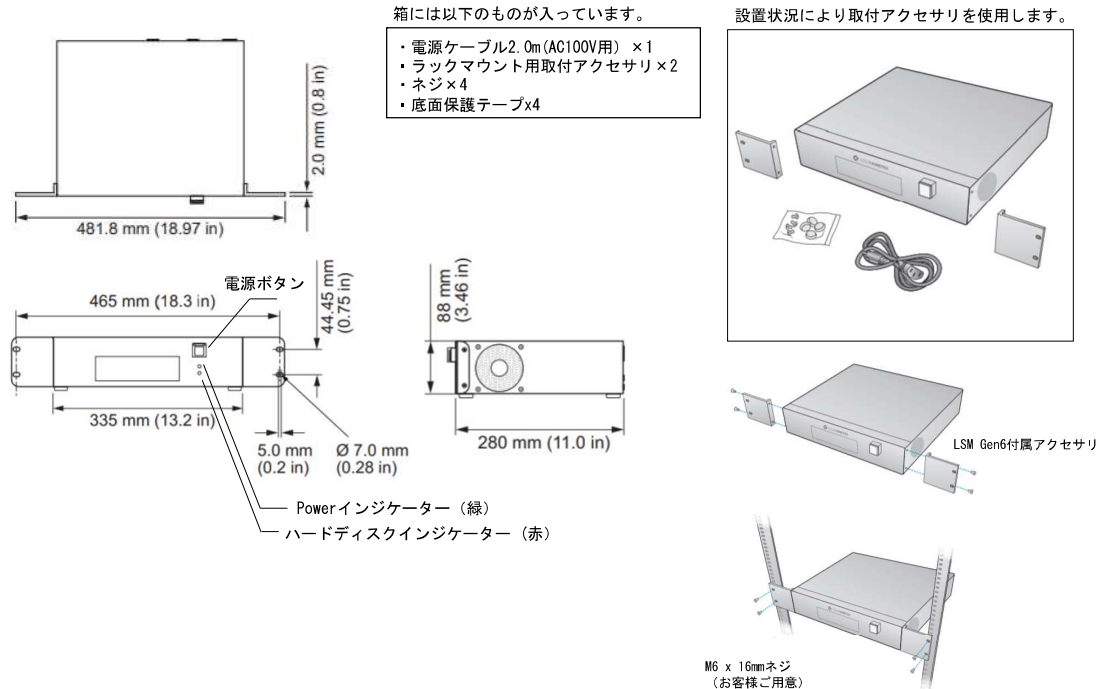
Light System Manager

ライトシステムマネジャー
ユーザーガイド
取扱説明書 rev:02

工事店様へ、工事が終わりましたらこの取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
お客様へ、この取扱説明書はお読みになった後も必ず大切に保管してください。

本書では、フィリップスのイーサネット・コントロールシステム Light System Manager（ライトシステムマネジャー / LSM）の基本的な取扱方法および運用方法についてご説明します。

■ Light System Manager概要



注意：本マニュアルに記載されていない接続ポートやスイッチは、使用しないでください。故障の原因となることがあります。

■ プログラム再生用ハードウェアの取扱方法

◆ 電源の入れ方

- 電源プラグに付属のAC100Vコンセント用電源ケーブルを接続してコンセントに差し込みます。
(AC200Vでご使用の場合は別途AC200V用の電源ケーブルをご用意願います。)
- 電源ボタンを押してください。システムが起動開始し、Powerインジケーターが緑色で点灯します。
- システム稼働中は、ハードディスクインジケーターが赤色に点滅します。
※ 保存した演出内容によって異なりますが、起動するのに数分かかる場合があります。

◆ 電源の切り方

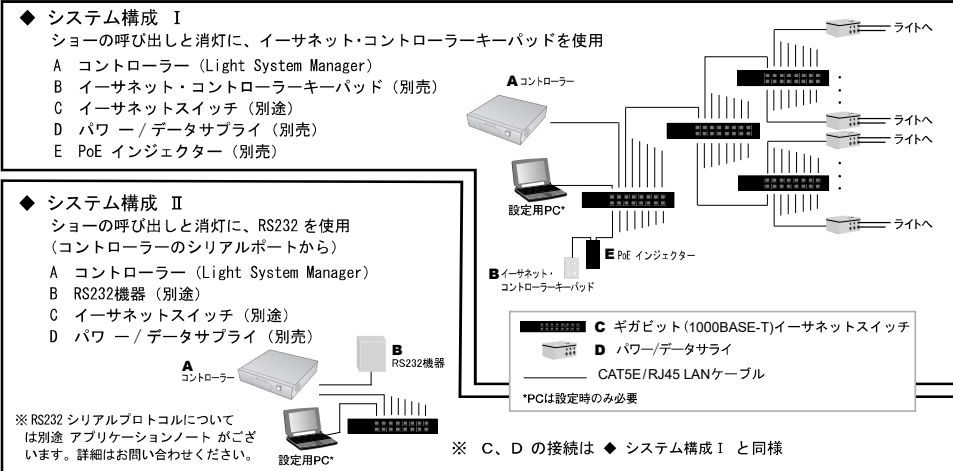
- 電源を切るには、電源ボタンを押します。Powerインジケーター・ハードディスクインジケーターが
消灯し、ハードドライブが停止したことを確認してください。
- ブレーカーなどの一次側電源は、最後に切ってください。

注意：本製品はコンピューターをベースとしたハードウェアです。起動中にいきなり電源ケーブルを抜いたり、電源ボタン
を使わずに一次側電源のブレーカーなどから直接電源を切ると、製品不具合、故障の原因となりますのでご注意ください。

■ システムの管理について

Light System Managerによるイーサネット・コントロールシステムでは、コントローラー・ハードウェア、パワー
/ データサプライ、ライトといった各機器を、イーサネットスイッチを介して接続し、独自のネットワークを構築します。
一般のLANとの兼用敷設は出来ませんのでご注意ください。

※ イーサネットスイッチは「マネージドモード」機能があるDELL製Power Connect 2700シリーズのギガビット・スイッチを推奨します。
マネージドモードはデータ通信が不安定な場合に復旧を助ける機能があります。



◆ 電源のとり方

電源回路およびタイマーの設定は、下記 1. 2. を参考にして用意してください。

1. コントローラーの電源は、独立して制御できるようにする。

A (コントローラー) の電源は、本体ボタンの電源スイッチから切る必要があります。コントローラーの電源系
統は他のシステムから独立させ、ブレーカーから電源を落とされることのないようご注意ください。
メンテナンスなどでやむなく電源を切る必要がある場合も、まず本体ボタンで OFF にしてから AC100V (または
200V) の供給を止めてください。※ AC200V でご使用の際は、別途電源ケーブルをご用意願います。

2. パワー / データサプライおよびイーサネットスイッチのブレーカーは、小分けに制御できるようにする。

これは、システムトラブルに備えた対策です。システムの電源をいったん落とした場合、稀に再起動後ライトが
正しく作動しない場合があります。この症状が出た場合、該当するパワー / データサプライやイーサネットス
witchの電源を入れ直す必要がありますので、ブレーカーは小分けにしておいてください。
(◆ システムの運用方法 ② パワー / データサプライの電源を操作する場合 注意 2. 参照)

◆ システムの運用方法

演出の開始 (点灯) と演出の終了 (消灯) のしかたは、下記 ① ② ③ を参考にしてください。
コントローラーの電源操作によるライトの ON/OFF はできません。

- コントローラーの信号切り替えで操作する場合 ー 黒色点灯による消灯ー
上記のシステム構成「B」(コントローラーキーパッドまたは RS232 機器) で点灯 / 消灯を操作します。このとき
全ての機器の電源は入れたままにしておき、演出を終了したいときは黒色点灯のデータを流すことでライトを
消灯します。たとえば、上記◆システム構成 I のようにイーサネット・コントローラーキーパッドを使用する
場合は、キーパッドの「OFF ボタン」が黒色点灯と同じ機能をもっていますので、OFF ボタンを押してライトを消
します。
- パワー / データサプライの電源を操作する場合
上記のシステム構成「D」(パワー / データサプライ) の電源の入り切りを行うことで点灯 / 消灯を操作します。
この時コントローラーの電源は ON にしデータを流した状態にしておきます。ただし、以下の点にご注意ください。
注意 1. パワー / データサプライの電源を入れたとき、ライトが点灯するのに多少の個体差があります。したがっ
て全てのライトが誤差なく演出を開始するようにしたい場合は、電源を入れるときコントローラーから黒
色点灯のデータを流しておき、パワー / データサプライの電源を入れた後、しばらくしてから、点灯データ
に切り替えてください。
注意 2. パワー / データサプライへの電源供給とともに大量のデータが一度にシステム上に流れることで、稀に一
部の機器にデータが正常に受け渡しされずライトが正しく作動しない場合があります。この場合まず、該
当するライトのパワー / データサプライの電源を入れ直してください。それでも復旧しない場合は、該当
するイーサネットスイッチに接続されている LAN ケーブルの抜き差しと電源の入れ直しを実施してくだ
さい。

③ Light System Manager のスケジューリング機能で管理 ー自動操作ー

あらかじめ Light System Manager のソフト上で、再生するショーの種類や時間の設定、消灯時間の設定（黒色点灯の設定）などを組むことができます。この場合、自動再生 / 消灯となりますので、全ての機器の電源は常時 ON にしておいてください。

注意 1. ただし月日の経過とともにコントローラーのクロック（内部時計）に誤差が生じるため、定期的な調整が必要となります。（◆クロック（内部時計）の調整 参照）

■ コントローラーのメンテナンス

◆ クロック（内部時計）の調整

日々の運用に Light System Manager のスケジューリング機能を利用してライトショーの切り替えや消灯を行う場合、そのタイミングが正確な時刻に保たれるようにするには、コントローラー（Light System Manager）のクロック（内部時計）を定期的に調整する必要があります。これは、月日の経過とともにクロック（内部時計）に誤差が生じるためです。手順については、別途お問い合わせください。

ーこの作業を行うには、設定用 P C が必要となります。

備考：メンテナンス時、コントローラーの電源を切ったとしてもパワー / データサブライに電源が供給されている限り、ライトは消えません。直前のデータがライトに残ります。ライトを完全に消灯するには、「黒色点灯」のデータを流すか（※）、パワー / データサブライの電源を切ってください。
※イーサネット・コントローラー キーパッドでは、OFF ボタンが「黒色」点灯と同じ機能を持っています。

瞬時停電対策

本製品はコンピューターをベースとしたハードウェアのため、度重なる停電やシステム起動中に起こる強制終了は、製品不具合の原因となります。

●瞬時停電対策として、UPS（無停電電源装置）のご使用をおすすめします。UPS の選択については、電気工事業者にご相談ください。

・ 定格

定格入力電圧	定格入力電流	定格消費電力
AC100V-240V 50Hz-60Hz	1.8A-0.8A	180W 最大

・ 使用環境

場所	温度	湿度
屋内	0℃～35℃	0%～90% 結露なし

- ⚡ コントローラーの取り付けや配線を行う際は、必ず主電源を切ってから行ってください。
- ⚠ コントローラーを取り付ける際は、取り付け指示書と安全ラベルを事前に読み、理解してから作業を行ってください。
- ⚠ いかなる状況でも、コントローラーをどのような絶縁材でも覆わないでください。
- ⚠ 定格電圧以外のコントローラーは使用しないでください。どの治具も指定量を超えた電圧・電流を使用しないでください。

安全上のご注意(お客様へ)

⚠ 警告

- 素人仕事は危険です。電気仕事は、電気工事店（有資格者）にお任せください。一般の方の取付は法律で禁止されています。
- 電源を入れた状態での配線工事、器具の接続または取り外しはしないでください。火災・感電の原因となります。
- 異常を感じたら、すぐに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。火災・感電の原因となります。
- 器具の改造、部品の変更は行わないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を布・紙などの可燃物で覆ったり、燃えやすいものを近づけたりしないでください。火災の原因となります。
- お手入れの際は、必ず電源を切り、しばらくしてから作業してください。感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

- 器具の周囲に温度の高くなるもの（ストーブなど）や湿気を発生させるものを置かないでください。火災の原因となります。
- 設置・取付環境に応じて適切な部材、手法で施工してください。取り付けに不備があると落下の原因になります。
- 器具には寿命があります。必ずメンテナンスが可能な場所に設置してください。
- 当製品の使用可能条件の温度は0℃～35℃、湿度は0%～90%、結露なしです。

保 証

- この商品の保証期間は、お買い上げ日より3年です。取扱説明書、カタログ、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態で保証期間内で故障した場合は、無償修理、または交換させていただきます。
- 無償修理または交換をご依頼になる場合は、お買い上げ販売店にお申し付けください

保証の免責事項

1.保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

- 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷。
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災などによる故障及び損傷。
- 異常電圧、指定以外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
- 施工上の不備に起因する故障及び損傷。本取扱説明書に従わない取付。
- 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷。
- 日本国内以外での使用による故障及び損傷
- 年間 4 0 0 時間以上の長時間使用の場合

2.保証の範囲は商品のみです。

- 交換、出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

保守・点検について

⚠ 注意

- 安全の為1年に1回は器具を点検してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの傷みがないかお調べください。
- 点検は、必ず電源を切ってからおこなってください。感電の原因となります。
- 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに使い続けるとともに、火災・感電・落下などに至る場合があります。

清 掃

- 器具のお手入れは、水もしくは薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたし、それをしぼってから軽く拭きとってください。ブラグやコンセント回りのゴミやほこりは、乾いたやわらかい布で、よくふいて取り除いてください。発火・火災の原因となることがあります。
- ⚠ シンナー、ベンジン、アルカリ、弱酸性、塩素系洗剤で拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
- ⚠ 器具を水洗いしないでください。